

実施団体

会津若松市(アクセンチュア株式会社)

事業費

40,587千円

対象地域

福島県 会津若松市

事業概要

会津若松市スマートシティの取組みのより一層の加速化と市民参加の促進を目的とし、地域と市民とのワンストップ機能を担うデジタルコミュニケーションプラットフォーム2.0に向けたバージョンアップを図り、本プラットフォームを通じたデータやサービスの連携の標準化、データ分析人材育成や市民コミュニケーションの醸成を実施する。これら取り組みにより、ICT・データを活用して多様な分野にて推進している個々の事業の効果の最大化を図り、持続可能なシティズンセントリック型スマートシティの実現を目指す。



データ利活用型「スマートシティさいたまモデル」構築事業

実施団体

一般社団法人美園タウンマネジメント

事業費

63,729千円

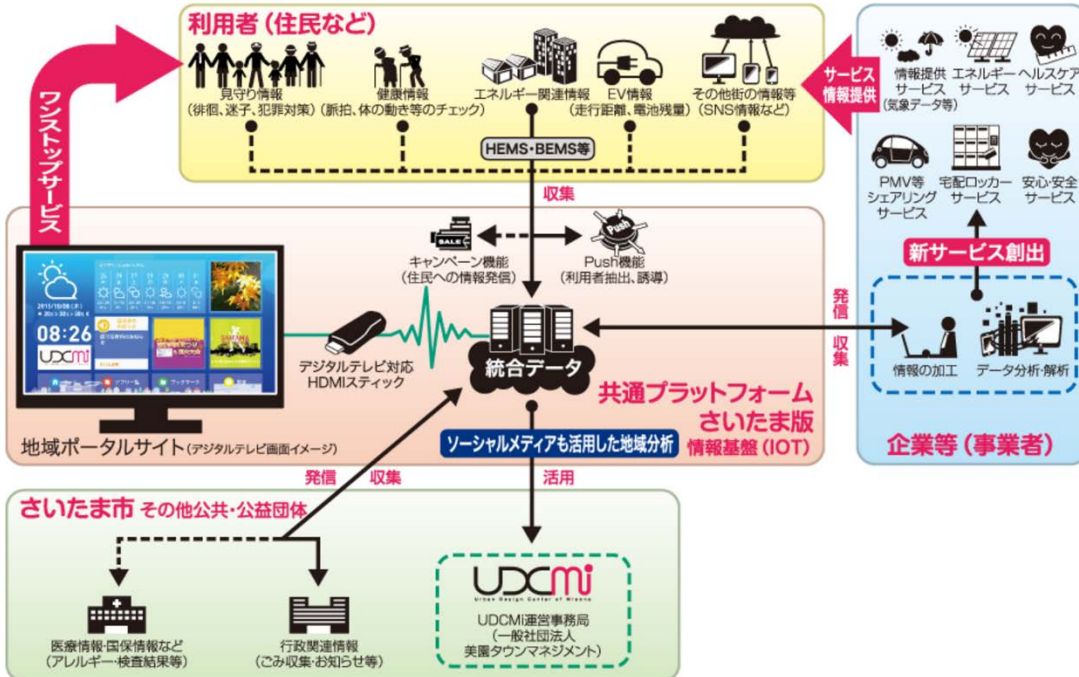
対象地域

さいたま市美園地区(主として同市緑区・岩槻区にまたがる「みそのウイングシティ」の区域)

事業概要

「スマートシティさいたまモデル」の実現に向け、本市美園地区を先導モデル地区として、様々な「まちのデータ」の収集・管理・活用を可能とする情報共通基盤を構築し、各種生活支援サービスをワンストップで提供することで、ライフスタイルやライフステージに応じた生活環境の実現(子育て世帯のゆとりの時間の創出等)と社会コストの最適化を図る。また、サービス提供者が、事業規模を問わず本システムに参画できるオープンなシステムとし、新たなビジネス・コラボレーションの創出、地域経済活性化を図る。

プラットフォーム概念図



サービス特質と処理階層

